

# 人権尊重

## 差別を許さない企業体質を確立するために

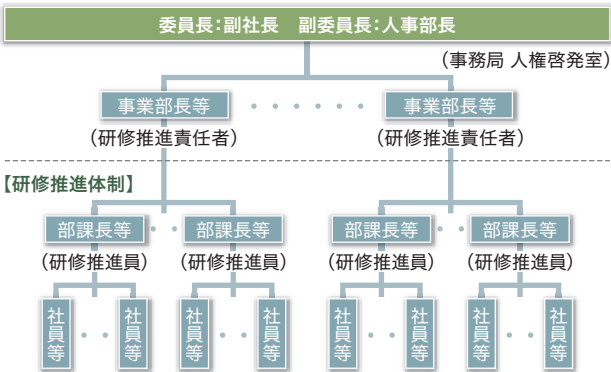
NTT西日本グループは、同和問題をはじめとする、障がい者差別、外国人差別、性差別などのあらゆる差別を許さない企業体質の確立、およびセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントのない企業風土の確立をめざしています。

グループ各社・各組織のトップ自らが、人権尊重の重要性を認識し、人権啓発の推進責任者として取り組んでいます。

具体的な取り組みとして、人権啓発推進体制を確立し、研修推進員などを中心とした啓発研修等により、社員の人権意識の定着、浸透を図ることとしています。

### ●人権啓発推進体制

【人権啓発委員会】



## 人権に関する研修

毎年、経営トップ層へのセミナーの実施をはじめ、研修の核となる研修推進員への体系的・継続的育成研修の実施、採用時や管理者任用時など節目をとらえた階層別研修を

実施しています。

また、NTT西日本グループとして、研修推進員を中心としたFace to Face研修(集合研修)などにより、全社員が年間1回以上の研修に参加することを目標に、社員の人権意識の定着、浸透を図っています。

さらに、人材派遣社員などを含めた全社員に、人権啓発研修に関する基礎知識を中心とした、いつでも学習できるWeb研修を実施しています。

## 標語などの募集

NTT西日本グループでは、人権意識の高揚を図るため、社員ばかりではなく社員の家族をも対象として、人権にかかわるポスター・標語を募集し、人権週間(12/4~12/10)にあわせて優秀作品を表彰するとともに、人権啓発カレンダーを作成し各事業所に掲出するなど、人権意識の浸透、高揚に努めています。

なお2009年度は、ポスター330作品、標語92,263作品の応募がありました。



## Voice

ステークホルダーの声

### NTT西日本の企業精神に共感

日本グラフィックデザイナー協会 新家 春二氏

人権啓発ポスターの審査に携わり数年、「タイポグラフィ」作品の増加など、見せ方が千差万別に広がってきたのはうれしい限り。これからも2、3秒で見る者をドキッとさせるような新しいツールが出てきてほしいと思う。ただ、技術の追究よりも、見る者に「見てよ」と語りかける「気持ち」を込めることが大事だということを忘れてはならない。

人と人が共存していくためのルール「人権」。私たちの日常生活は、複数の人と空間を共有することで成り立っている。違った個性や行動様式をもった者同士が生活を送っているのだから、「自分

と違う」「理解できない」と感じるのは当たり前。

審査に臨んでオノ・ヨーコさんの深い言葉を思い出した。「ひとりで見える夢は“夢”でしかないが、みんなで見る夢は“現実”だ」。

ポスターテーマとして人権啓発に取り組み、世界共通の願いを実現させようとするNTT西日本の企業精神に私は共感を覚える。

また、作品からは懸命に描いている子どもたちの姿が見えてくる。嫌いなことを嫌々やるよりも、好きでしようがないことをやるほうがいい。人の出発点は好奇心なのだから。

